



First Friends Emergency Vehicles Set

私たちが助けてくれる人々になりきるごっこ遊びです。言葉の発達、共感する力、救助のお話の出来事を順序立てる力、少人数で協力して遊ぶ力を支えます。

内容

フィギュア付き乗り物3台

対象市場

家庭・教育の両方

セットの内容



First Friends Police Car

24 × 19 × 18 cm



First Friends Fire Engine

24 × 19 × 18 cm



First Friends Ambulance

24 × 19 × 18 cm

子どもが学ぶこと

言葉

警察、消防、救急車、サイレン、レスキュー、けが、安全。カードではなく、乗り物と一緒に身につく言葉です。

世界を知る

困ったときに誰が助けてくれるのか、何に乗って来るのか、どこへ連れていってくれるのか。

順序立て

呼ぶ、走る、着く、助ける、帰る。レスキューは順序のある物語で、はじめての物語づくりです。

社会性

1人1台の乗り物と、一緒に解決する1つの問題。順番を待つこと、誰が先に行くかを話し合うことを学びます。

手先の器用さ

フィギュアを座らせる、ドアをあける、手足をカチッと動かしてポーズをとる、いすの脚をよけてハンドルを切る。

感情リテラシー

誰かが怖がっていたり、けがをしていたり、迷子になっていたりと、助ける人がやって来ます。安心できるごっこ遊びの中で、人を助ける練習ができます。

ひとつのセットで5年間遊べる

1〜2歳

乗り物を押し、フィギュアを出し入れし、サイレンの音を出す

2〜3歳

乗り物とその仕事の名前を言い、名前を言った場所へ走らせる

3〜4歳

乗り物と問題を結びつけ、仲間とレスキューを演じる

4〜5歳

3人の仲間と順序どおりにレスキューをやり遂げ、あとで語り直す

はじめの日に試す

入れる、出す

12〜24か月・フィギュアを出して、また入れます。そのたびに運転手と乗り物の名前を言います。

ウーウー

18か月〜3歳・乗り物には、それぞれ音と仕事があります。言って、走らせて、止めます。

誰が助けに来る？

2〜4歳・問題を見せます。火事、けがをしたデディベア、迷子の犬。誰を呼ぼう？

テーマ

私たちが助けてくれる人

安全に過ごす

緊急事態

私たちの地域

病院

消防署

乗り物

